

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和 4年 1月 19日

協議会名： 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会

資料 3

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名・運行（航）区間、整備内容等を記載（陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助（調査検討の経費を除く。）を受けている場合は、その旨記載】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか（方向性又は具体的な内容）を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
平和コーポレーション株式会社	(1)上矢作線 (横道車庫-道の駅-岩村駅前)	前回の事業評価における改善点を踏まえて、次の事業を実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 【定量目標】 ○バス利用者アンケートの満足度を令和5年度目標値となる数値とする。 目標値（満足、やや満足の合計）96.0%に対して、本年度(R3)は83.1%となった。	今年度は利用者減により、回答者数も減っている。満足度は、H29年度の94.6%を基準としているが、今後目標値が適正であるか、検討が必要。
	(2)上矢作線 (押山-横道車庫-岩村駅前)	地域の移動支援検討会と、路線再編に向けた見直し方針を決定した。地域内でアンケートを取得し、ニーズに合った路線の再編に向けて検討を進めている。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B ○自主運行バス利用者に対する明知鉄道への乗り換え率を平成29年度値以上とする。 本年度はコロナ禍により乗降調査ができず、昨年度(R2)より明知鉄道とバスの乗降者数は減少しているため、目標値は66.6%としているが、R2年度の38.5%より低いと推測している。	高齢化や人口減少、コロナ禍に伴う移動需要の激減・新たな生活様式への社会情勢を見据え、利用者ニーズに応じた路線再編を検討する。また、目標値についても改訂するように進めている。上矢作地区についても地域委員会で路線再編を進めている。
	(3)上矢作線 (大野-上矢作振興事務所前-岩村駅前)	高齢者公共交通利用支援事業として、公共交通利用チケットを配布した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B ○グリーン会員証の発行枚数を令和5年度目標値となる数値とする。 確保維持計画に記載のある上矢作町については、本年度目標値28枚(4~3月)に対して、14枚である。	グリーン会員証の発行枚数は地域協議会での承認も得てPRはしているが、外出自粛名等により昨年より発行枚数は落ちている。
	(4)上矢作線 (大野-横道車庫-岩村駅前)	明知鉄道と接続するダイヤの見直しを行い、地域公共交通マップの作成した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 計画どおり事業は適切に実施された。	上矢作線については、地域の移動支援検討会及び事業者と協働でニーズの把握を行い、実態に合った路線の再編やPRを行い、公共交通に対する意識を高め、さらなる利用促進を図る。
	(5)上矢作線 (横道車庫-道の駅-パロー岩村店)		A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 計画どおり事業は適切に実施された。	
	(6)上矢作線 (大野-押山-パロー岩村店)		A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 計画どおり事業は適切に実施された。	
	(7)上矢作線 (パロー岩村店-道の駅-押山)		A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 計画どおり事業は適切に実施された。	